

# 芸術文化選奨

受賞年度：令和2年度  
 受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	かわぐち せいぞう 川口 清三		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	碧南市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p><b>分野：木工芸</b></p> <p>愛知教育大学美術科において木工を志し、卒業後、刈谷市の指物師のもとで修業を積む。その作品は塊の木から彫り出す「刳物」の技法によるもので、シンプルな形体に、木目の美しさが引き立つ。東海伝統工芸展では最高賞を含む8回の受賞、10回の審査員を経験している。公益社団法人日本工芸会東海支部で中核となる役割を担い、東海圏の伝統工芸の伝承と促進に努めるほか、日本伝統工芸展名古屋展において文化庁後援こども鑑賞事業主任を担当し、美術館や教育現場への啓蒙に尽力するなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。</p>



川口 清三



「櫛拭漆盛器」（平成30年）

経歴・業績・近年の活動内容
<p><b>【略歴】</b></p> <p>昭和37年5月 名古屋市に生まれる                  昭和60年3月 愛知教育大学美術科卒業                  平成19年9月 第54回日本伝統工芸展 東京都知事賞受賞                  平成25年4月 第14回伝統工芸木竹展 日本工芸会賞受賞                  平成30年9月 第65回日本伝統工芸展 日本工芸会保持者賞受賞                  令和2年4月 紫綬褒章受章                  令和3年4月 第18回伝統工芸木竹展 文部科学大臣賞受賞                  令和4年7月 第42回伝統文化ポーラ賞 優秀賞受賞</p> <p><b>【近年の活動内容】</b></p> <p>「公益社団法人日本工芸会東海支部総務委員長に就任（平成30年5月）                  日本伝統工芸展に鑑査委員として出品（平成30年9月・令和2年9月）                  「川口清三がつくる茶道具展」（工房多津蔵）（令和2年2月）                  「愛知の工芸2020」に出品（古川美術館）（令和2年3月）</p>